科目ナンバリング	U-LAS70 10001 SJ50						
授業科目名 <英訳>	ILASセミナー ：医生物学の最前線 ILAS Seminar :Frontiers in Life and Medical Sciences			担当者所属 職名・氏名	医生物学研究所 教授　河本　宏 医生物学研究所 教授　野田　岳志 医生物学研究所 教授　近藤　玄		
群	少人数群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール（対面授業科目）
開講年度・開講期	2025・前期	受講定員 (1回生定員)	8 (8) 人	配当学年	主として１回生	対象学生	全学向
曜時限	火5	教室	南部総合研究1号館・医生研1号館1階会議室（134室）(医・薬・病院構内)			使用言語	日本語
キーワード	再生医学 / 免疫学 / ウイルス学 / 生殖・発生工学						

[授業の概要・目的]

医学と生物学はともに生命を取り扱う学問分野である。最近では医学と生物学を統合的に捉え、学際的な視点から生命現象の基礎的な理解を深め、その理解を基盤として疾患の原因解明、予防・診断・治療法の開発への展開が進められている。本セミナーでは、再生医学、免疫学、ウイルス学、生殖・発生工学を専門とする複数の教員がそれぞれの分野の最先端の研究内容を解説し、実験や議論を通じて医生物学研究の現在を体験する機会を提供する。

[到達目標]

講義、調査、議論、発表を通じて、医生物学に関する基礎的理解を深め、論理的思考と問題解決能力、考察力、プレゼンテーション能力を身につける。

[授業計画と内容]

最先端の医生物学のトピックスについて入門的な知識を学び、実験と議論を通じて理解を深める。具体的には以下に示す内容を取り上げる。

第１回－第５回（担当：河本　宏）：
「再生医学の最前線」：再生医療の現状と課題について学ぶ。特に再生組織に対する免疫反応に焦点をあて、毎回講義の後半では関連する問題点について討論する。（第1回では「医生物学の最前線」講義の概要と授業のガイダンスを行う）

第６回ー第１０回（担当：野田岳志）：
　「ウイルス研究の最前線」：ウイルス学の基礎および最新のウイルス研究の現状や手法について学ぶ。講義だけでなく簡単な実習や見学を通じて、ウイルス研究の現状や課題について理解を深める。

第１１回－第１４回（担当：近藤　玄）：
「生殖・発生工学の最前線」：広く生物学研究の基盤となっている実験動物の生殖・発生機構、遺伝子改変マウス作製技術から動物実験の基本原則まで幅広く学ぶ。

第１５回（担当：河本　宏）：
学習到達度の評価：全体の討論

ILASセミナー ：医生物学の最前線(2)へ続く↓↓↓

ILASセミナー　：医生物学の最前線(2)

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

出席状況とレポート・発表、および、ゼミ中の討論への参加状況により評価する。詳細は初回授業にて説明する。

[教科書]

授業中に紹介する。

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する。

[授業外学修（予習・復習）等]

毎回の講義内容について復習し、次回講義において討論するための準備をしておくこと。

[その他（オフィスアワー等）]

[主要授業科目（学部・学科名）]